

第20回日本臨床環境医学会学術集会（千葉）開催の案内

第20回学術集会 会長 森 千里

会長あいさつ：

記念すべき第20回日本臨床環境医学会学術集会を千葉県柏市にあります千葉大学柏の葉キャンパス・予防医学センターで開催いたします。本学術集会は、共通した研究課題に取り組む「第59回日本産業衛生学会アレルギー・免疫毒性研究会」と併せて開催いたします。本集会の開催場所の選定には、平成17年夏に開通した「つくばエクスプレス」の掲げる「環境との共生」のコンセプトが適合すると感じたことが始まりでした。一般には、鉄道を含めた都市開発にみられるとおり、近代化を優先した街づくりが展開されますが、ヒトと環境の共生を目指す街づくりの実践を目指すことは、重要なことと考えております。

今回の開催場所であります柏の葉キャンパスでは、シックハウス症候群の発症を予防することを日指し、居住施設群（ケミレスタウン）を用いた実証実験が行われています。本学術集会では、これより得られた室内空気および室内環境に関する研究成果を社会にアピールするプログラムを企画しています。

ぜひとも会員の皆さまに、つくばエクスプレスの車窓から見える自然環境と共存する“まち”とキャンパス内に建設されたケミレスタウンをご覧いただき、本学術集会開催の主題である「研究を社会に生かす」に関する皆様の研究成果を大いに議論していただくことを切に願っております。

皆様の参加を心からお待ちしています。

開催日時：平成23年7月9日（土）10日（日）

開催会場（懇親会場）：

千葉大学柏の葉キャンパス

「シーズホール」および「ケミレスタウンテーマ棟」

〒277-0882 千葉県柏市柏の葉6-2-1

アクセス：つくばエクスプレス“柏の葉キャンパス駅”より徒歩5分

秋葉原駅から“区間快速”電車利用33分

開催テーマ：「研究を社会に生かす」

プログラム（案）：

第20回記念学術集会特別企画

A) “室内空気および室内環境”の研究成果

本学会の趣旨および研究の成果を社会へアピールする。

B) ネオニコチノイド農薬による最近の生態およびヒトの健康影響について

一般演題：7月9日および10日

関連行事（予定：会場は改めてご案内します）

理事会：7月8日（金） 評議員会・総会：7月9日（土）

懇親会：7月9日（土）

参加申し込み等の詳細は、第20回日本臨床環境医学会学術集会ホームページ <http://www.jsc20th.jp/>
（平成23年2月14日以降アクセス可能）を参照願います。

- 1) 第20回学術集会ホームページから、演題申込み、参加登録の手続きをしていただきます。
- 2) 筆頭発表者は日本臨床環境医学会会員に限ります。会員でない場合には、学会事務局を通して入会手続きをとってください。

一般演題発表について

- 1) 演題申込は第20回日本臨床環境医学会学術集会ホームページに掲載します演題申込用メールアドレスより、MS-Word ファイルとして1ページにまとめたものを添付の形式で送付していただく形式とする予定です。
- 2) 発表形式は口演発表を予定しています。ただし、演題数によってはプレゼンテーション付きのポスターセッションを設ける可能性もあります。
- 3) 口演発表は、Powerpoint ファイルを用いて発表していただきます。OS や MS-office のバージョンについての詳細は、学術集会ホームページに記させていただきます。

演題申込

演題募集開始：2011年(平成23年)3月1日(火) 抄録応募締切：2011年(平成23年)5月13日(金)

学術集会事務局

〒260-8670 千葉大学大学院 医学研究院 環境生命医学教室

TEL：043-226-2017、FAX：043-226-2018

E-mail：jimu@jsc20th.jp

学術集会ホームページ：http://www.jsc20th.jp/